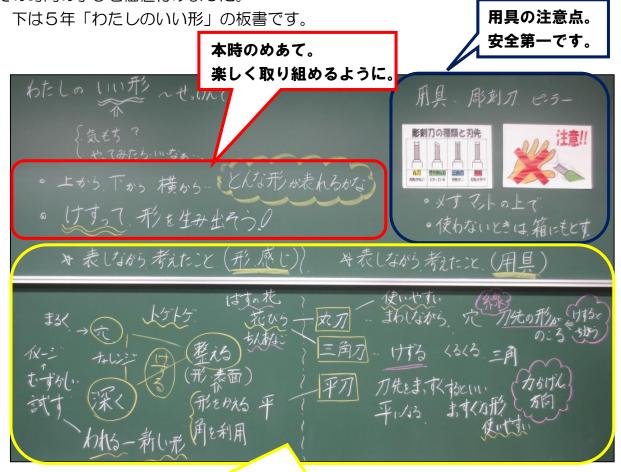
R2 年度 佐賀大学教育学部附属小学校 図画工作科の取組③

◎ ✓ ◎ 図工を通して身に付けた力~板書~◎ ✓ ◎ ◎

図工の時間は、活動が主になります。板書には、めあてや見通し、活動時の注意や指示等が書かれることが多いと思います。子どもたちは、それを見ながら造形活動に取り組むことになります。でも、それだけではもったいない!活動中、子どもたちの頭はフル回転しています。「この材料は、どんなことに使えるかな」「あ、なんか〇〇な形に見えるぞ。そうだ!いいこと考えた!」「彫刻刀って、こんな感じなんだ」「ここに穴をあけて通したいな。どうしたらいいかな…」「ここから見ると、かっこいいな」「うん、いい感じ!」…。自分の思いに向かって試行錯誤しながら活動する中で、言葉に出しても出さなくても、たくさんの気付きを得ています。そんな気付きを共有できたら、図工の時間の学びがもっと素敵なものになるのでは?そこで、授業の振り返りを板書し、整理して示してみました。

ワークシートに振り返りを書きながら、その中で一番の学びや気付きを、一人ずつ発表します。時間は約5分。板書に示した後、子どもたちの気付きをつないだり強調したりし、その時間の学びを価値付けました。



授業の最後に、「表しながら考えたこと」として、「形や感じ」と「用具」に分けて発言を整理しました。最後に 囲ったり、つないだりして、自分のイメージを表すため に用具を使っていたことを確認しました。

(中野)